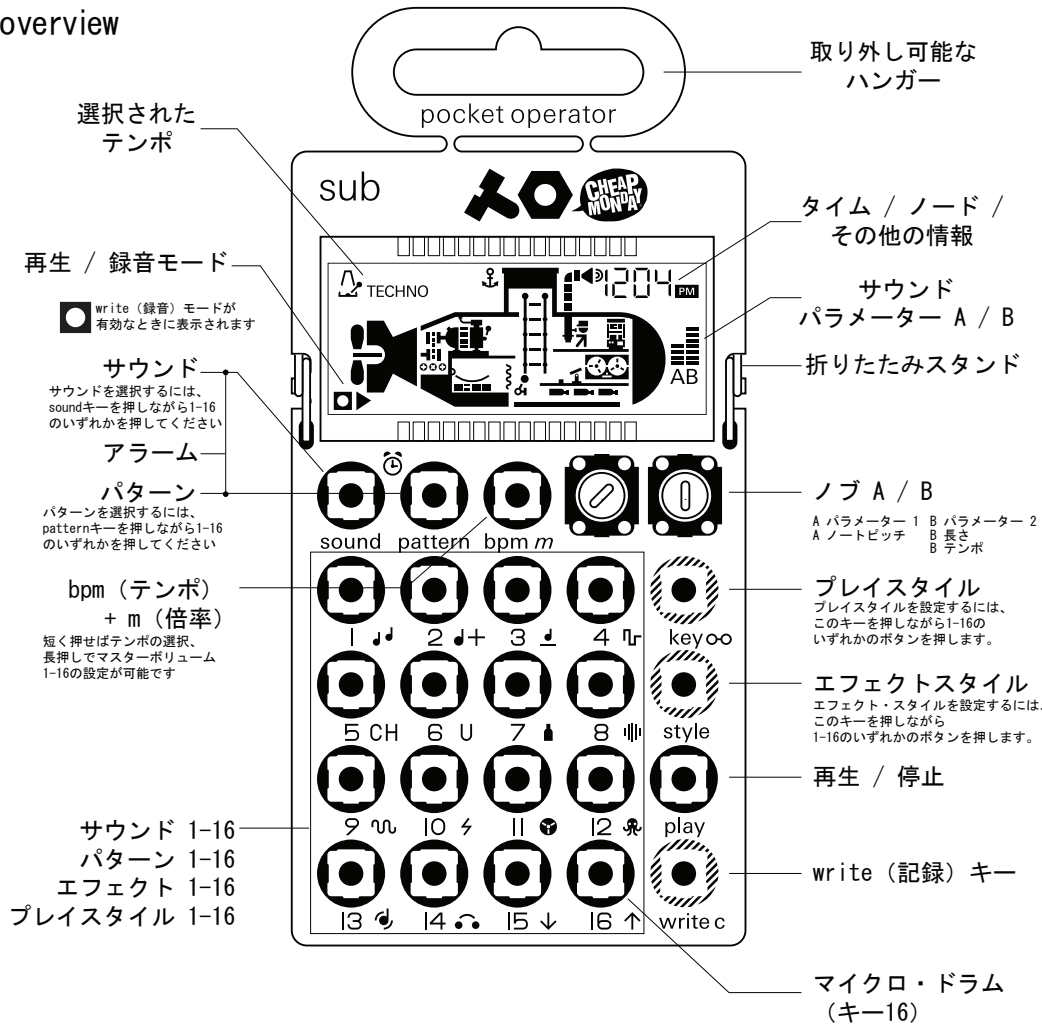


P0-14 sub overview



自動電源オフ (a.p.o = auto power off)
 一定時間ボタン操作が行われなかった場合、
 本体の電源が自動的に切られ、
 ディスプレイで時間を表示するだけのモードに切り替わります。
 sound + bpmボタンを押すと、電池の状態を確認できます。

サウンド 1-15

FM、フェーズ・ディストーション、
 ウェーブテーブルから
 物理モデリングのストリングス・
 サウンドに至るまで、
 多様なベースシンセサウンドを
 選択可能です。

サウンド 16

16種類のサンプリングされた
 サウンドを使用可能な
 マイクロ・ドラムマシンです。
 writeモード時にサウンドを
 設定するには、
 1-16のいずれかのボタンを
 押しながらノブAを回します。
 選択されたサウンドを示すため、
 n 1-16のいずれかが
 ディスプレイ右上に表示されます。

エフェクト 1-16

- 低サンプリングレート
- ディストーション
- ビートクラッシュ
- ディレイ
- 音符のシャッフル
- ローパス・スウィープ
- ハイパス・フィルタ
- ハイパス・スウィープ
- スタッター 3
- スタッター 8
- リビート 8
- リビート 6
- 音符のシャッフル
- フィードバック
- パラメーターLF0
- ピフランド

P0-14 sub manual

ユーザーズマニュアル

1. 使ってみましょう

電池
 2本の単4電池を入れます。
 極性のプラスとマイナスにご注意下さい。

時刻設定
 ノブAを回して時間単位、
 ノブBを回して分単位での時刻設定を行います。
 どれか他のキーを押して確定します。

アラーム
 sound + patternボタンを押します。
 時刻設定と同様にノブAで時間単位、
 ノブBで分単位のアラーム時刻を設定します。
 (アラームを解除するには、ノブAを一番下
 まで下げます)
 1-16のいずれかのボタンを押すと、
 アラームのサウンドを設定できます。

時刻のリセット
 時刻設定をリセットして初めからやり直す
 には、一度電池を抜いて入れ直します。

2. 再生

パターンの選択
 patternキーを押したまま
 キー1-16のいずれかを押しせば、
 パターンを選択できます。
 選択中のパターンに該当する
 LEDが点滅します。

playキー
 playキーを押して再生を開始します。
 もう一度playキーを押すと
 再生を停止します。

シーケンス
 1つのパターンは
 16ステップで構成されます。

3. パターンの作成

サウンドの選択
 soundキーを押しながら
 1-16のいずれかのキーを押して、
 サウンドを選択します。
 soundキーを押しながらキー16を押すと、
 マイクロ・ドラムが有効になります。

シーケンスパターンの作成
 write キーを押すと、write (録音)
 モードのインジケータがスクリーン上に
 表示されます。
 サウンド / 音符をグリッド上に入力すると、
 アクティブなステップが点灯します。
 playボタンを押すと、作成したパターンを
 再生できます。

音符の入力
 writeモードが有効の時には、光っている
 ステップを押しながらノブBを回すと、
 音符の長さを入力できます。
 また、ノブAを回すと音符の強さを
 設定できます。

4. サウンドの調整

エフェクトの追加
 再生中にエフェクトをパンチンするには、
 FX キーを押しながら1-16のいずれかの
 ボタンを押します。

パラメーターの固定

write キーを押したままノブA
 またはBを回すと、それに応じて
 サウンドのパラメーターが
 徐々に変化します。

5. テンポ

bpm キーを押すと、テンポを変更できます。
 テンポはディスプレイ右上に表示されます。
 HIP HOP (80 bpm)
 DISCO (120 bpm)
 TECHNO (140 bpm)

テンポを微調整するには、bpm キーを押し
 ながらノブBを回します。(60~206 bpm)

6. ボリューム

マスターボリュームを設定するには、
 bpm キーを押しながら1~16のいずれかの
 ボタンを押します。

7. ライブレコーディング

再生中にwrite キーを押しながら1-16の
 いずれかのボタンを押すと、音符を
 パンチンで追加できます。
 入力した音符はスウィング設定に応じて
 クオンタイズされます。
 パンチン操作が完了したら、
 write キーを離します。

8. プレイスタイル

プレイスタイルの追加
 シーケンス/パターンの再生中にプレイ
 スタイルをパンチン設定するには、
 プレイスタイル・キーを押しながら
 1-16のいずれかのボタンを押します。
 プレイスタイルには、コード、アルペジオ、
 移調などの種類があります。
 設定が完了したらwriteキーを離します。
 プレイスタイル・キーを単独で押すと、
 設定済みのプレイスタイルが消去されます。

9. ソングの作成

パターンのコピー
 write + pattern キーを押すと、現在選択
 されているパターンがメモリー内にコピー
 されます。write + pattern キーを押した
 ままの状態では1-16のいずれかのボタンを
 押すと、現在選択されているパターンが
 新しいスロットに複製されます。

パターンの消去

プレイスタイル・キー + pattern キーを
 押すと、現在選択されているパターンが
 消去されます。

パターンのチェイン

パターンをチェイン (連続) するには、
 pattern キーを押しながら、連結したい
 パターンが記録されている1-16のいずれかの
 ボタンを押します。最大16個のパターンを
 チェインできます。ひとつのパターンを
 繰り返して選択することも可能です。
 例えば、1, 1, 1, 4とチェイン入力すると、
 パターン1を3回再生してからパターン4を
 1回再生します。その後、チェイン全体が
 初めから繰り返して再生されます。

10. 複数ユニットのシンク (同期)

複数のポケット・オペレーターを同期させる
 には、ラインインとラインアウトでクリック
 トラックを共有します。
 市販のステレオ・オーディオケーブルを
 使用して、複数のユニットを接続します。
 マスター側のユニットがスレーブ側の
 ユニットのテンポをコントロールする
 ように動作します。
 マスター側のユニットのプレイスタイル・
 キー + bpm キーを押すと、シンクモードを
 切り替えることができます。この操作を
 繰り返して行うことで、ディスプレイ右上
 に表示されている異なるシンクモードへの
 切り替えが可能です。
 スレーブ側のユニットで再生ボタンを押し、
 マスター側のユニットからのクロック信号を
 待ちます。マスター側のユニットの再生
 ボタンを押すと開始されます。

シンクモード

5つのシンクモードがあり、デフォルト設定
 はSY0です。シンク信号とオーディオ信号を
 同時に送信または受信する場合、信号は
 オーディオ信号 (右チャンネル) とシンク
 信号 (左チャンネル) とに分けられます。

シンクのシナリオ

例A
 chain: P0-12 → P0-14 → P0-16
 setting: SY1 SY5 SY4

例B
 chain: ext. → P0-12
 setting: volca SY2
 iphone
 computer
 synckontrol

例C
 chain: ext. → P0-12 → P0-14
 setting: SY3 SY4

例D
 chain: P0-12 → ext. (スプリットケーブル)
 setting: SY1

ext.: 外部デバイス